

「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式 7月1日水



保護司などが出席しメッセージを伝達

役場本庁舎で、「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式が行われました。

「社会を明るくする運動」は全ての国民が、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動です。

伝達式では、雲南地区保護司会の石川隆さん（頼原）が、「犯罪・非行の防止」や「罪を犯した方への更生」への理解と協力の願いを込めたメッセージを、塚原町長に伝達しました。

今後も犯罪や非行をした人が立ち直るために、その人の努力を支え、受け入れる地域づくりに努めます。

犯罪被害者等支援連携協定締結式 7月7日火



左から雲南警察署 川上教彰署長、塚原町長、島根被害者サポートセンター 金崎智枝理事長

雲南警察署、公益社団法人島根被害者サポートセンターの3者で、連携協定を締結しました。

町は、犯罪被害者等が安心して支援を受けられる環境を整えるため「飯南町犯罪被害者等支援条例（令和8年6月施行）」を制定。犯罪被害者等への支援体制を強化するため、連携協定を締結しました。

この協定により、各機関が持つ専門性を生かし、相談窓口の相互連携や日常生活支援など、犯罪被害者が安心して暮らせる地域づくりを推進します。

食生活改善推進員育成教室開講式 7月9日木



飯南町食生活改善推進協議会 景山早苗会長が会の歴史を紹介

郷土料理の伝承や、食を通じた健康づくりの啓発に取り組むボランティア団体「食生活改善推進員」の育成教室が開講しました。

育成教室は講義や調理実習など全6回。生活習慣病予防や、食事と健康に関する知識を学びます。

今年度の受講者は12人。育成教室を修了すると、食生活改善推進員として、地域や学校でのボランティア活動を実施できます。

今後も行政と地域住民が一体となり、地域の健康づくりに取り組みます。

清原豊明さんに知事感謝状 7月14日土



島根県庁で行われた表彰式に出席した清原さん（左）

環境保全に貢献したとして、清原豊明さん（下赤名）に知事感謝状が授与されました。

清原さんは平成29年から、島根県自然環境保全地域に指定されている赤名湿地性植物群落で、自然保護指導員として活動。赤名湿地の定期的な巡視や清掃活動の実施、野生動物の違法採取防止などに取り組み、環境保全に大きく貢献しました。

自然保護の重要性を認識し、意欲的な取組姿勢や積極的な活動が、自然保護の推進に貢献している点が評価されました。

総務大臣が視察のため来町 6月14日金



大しめなわ創作館を見学

中山間地域で地域活性化に取り組む先進事例を視察するため、林芳正総務大臣が本町を訪れました。

大しめなわ創作館では、地域おこし協力隊が任期終了後も定住し、しめ縄職人として活動する現場を視察。谷自治振興会や飯南町地域づくり協同組合の代表者と、地域の課題解決に向けた取組などについての意見交換も行いました。

林総務大臣は「地域資源の継承や人材定着の取組など、熱意を持って活動する姿勢を心強く感じた」と話しました。

本町の取組が、全国の小規模自治体の好事例として取り上げられ、町内での地域づくりの促進に繋がることを期待しています。



谷自治振興会、飯南町地域づくり協同組合との意見交換



コモ巻きを体験し、本町の伝統文化・技術に触れました

上智大生が本町で視察研修 6月18日木～20日土



1ターンで就農した方にインタビューする様子

上智大学の学生や研究生など8人が本町を訪れ、町内各所を視察しました。

令和3年から始まったこの視察研修では、本町の水田の水質、高齢者施設の防災対策や人口減少対策を調査。町が重点を置いて取り組む人口減少対策に関する調査では、地域おこし協力隊の活動現場の視察や意見交換を行うなど、本町の取組に理解を深めました。

今後も上智大学と協働し、本研修を活かした農業振興や社会課題の解決に取り組まします。

バスの乗り方セミナー 6月30日火



ほとんどの参加者が初めて町営バスに乗車

介護予防を目的に「バスの乗り方セミナー」を開催しました。

元気に暮らし続けるためには、自家用車以外の手段を使って外出できることも大切です。セミナーでは、講義と実践により、バスの使い方を学びます。

今回は谷地区から町営バス等を利用し、道の駅頼原まで乗車。時刻表の読み方や、運賃の払い方を実践で学びました。

町では、3人以上のグループで申し込むと随時セミナーを実施しています。

問 保健福祉課
72・1770